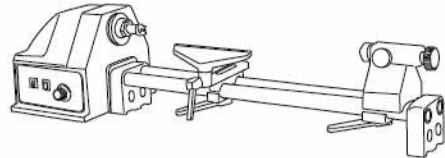


無段変速木工旋盤 WT-100

取扱説明書

NAKATOMI



この度は、弊社「木工旋盤WT-100」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。尚、この取扱説明書は大切に保管してください。

●ご使用上の注意事項

- 警告** 使用を間違った場合に、使用者が、死亡または、重傷、物的損害が想定される物を表記しています。
- ・運転中、機械の調子が悪かったり、異常に気付いた時は、直ちに使用を中止してください。
 - ・取付部品や運転等に異常のある電動工具は使用しないでください。
 - ・能力を超えた作業は事故のもとです。
 - ・可燃性の液体(ガソリン、シンナー等)、ガスのある場所では作業しないでください。
 - ・無理な姿勢では作業しないでください。
 - ・疲れている時や、体調の悪い時はご使用にならないでください。
 - ・運転中、可動部には絶対触れないでください。
 - ・作業中の手袋の使用はおやめください。巻き込まれる恐れがあります。
 - ・作業時の服装は身軽な物で行ってください。手袋、ネクタイ、袖口の開いた服装は可動部に巻き込まれる恐れがあります。
 - ・作業場所には、作業関係者以外は近づけないでください。特にお子様は危険です。

- 注意** 使用を間違った場合に、物的損害や、傷害を負う危険が想定される物を表記しています。
- ・電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れている事を確認し、使用後及び停電の際には、スイッチを切って電源プラグを抜くよう心がけてください。
 - ・整備点検、部品交換の際は、必ずスイッチが切れている事を確認し、差込プラグを電源から外してください。
 - ・コードを引っ張ったり、コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・製品は大事に扱ってください。誤って落としたり、ぶつけたりした場合は、異常の有無を確認してください。
 - ・電圧は、銘板の表示と一致しているか必ず確認してください。100V用のモーターを200Vで使用するとモーターが発熱して危険です。逆に低い電圧で使用すると、力不足になります。
 - ・可燃性の液体(ガソリン、シンナー等)ガスのある場所では作業しないでください。
 - ・安全な作業をするためには、作業場所は常にきれいに整理をし十分な採光が必要です。散らかした作業場所は事故のもとです。
 - ・周りの状況を確認したうえで十分に注意をしてご使用ください。
 - ・調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は、使用後すぐ外すようにしてください。スイッチを入れる前に、それらが外してあるか確認してください。
 - ・本機はお子様の手が届かない所に保管してください。
 - ・作業中は安全メガネをかけて目を保護してください。
 - ・作業にはマスクを着用してください。
 - ・本機はDIY商品として開発された製品です。一般家庭用としてご使用ください。
 - ・濡った場所、濡れた場所での使用は避けてください。感電事故の原因となりモーター絶縁を低下させます。
 - ・ハイトは正しく研いだ良切れる物をご使用ください。切れ味の悪い物を使用すると、引っかかったりして危険です。
 - ・始動後、正規の回転数になってからご使用ください。

※注意に表記してある物でも状況によっては、死亡、重傷等重大な事故につながる恐れがありますので必ず守ってください。

●用途・特長

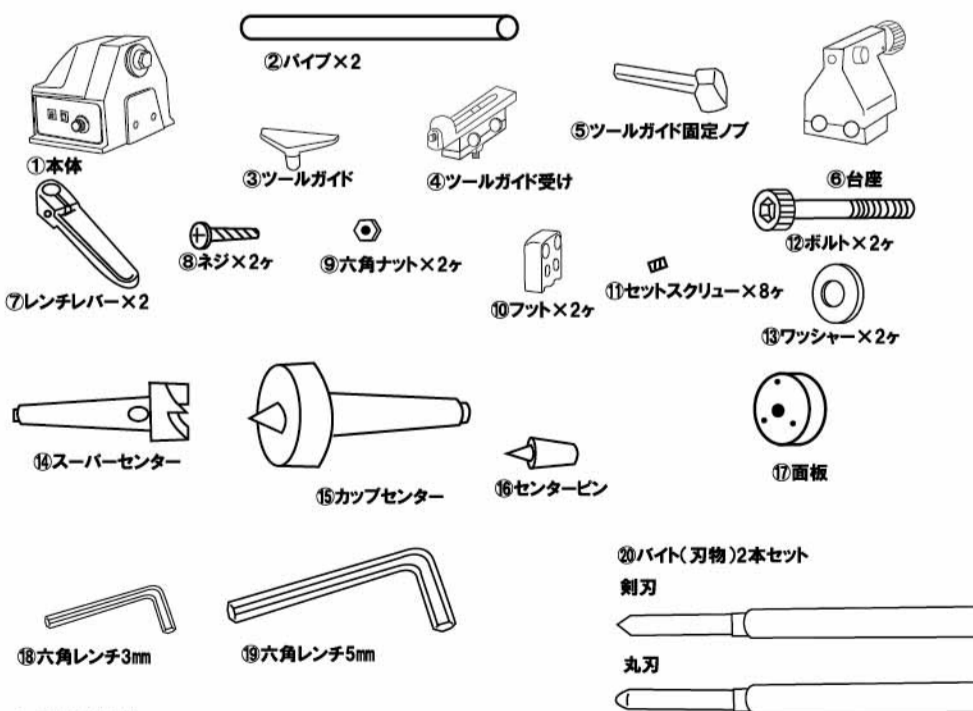
- ・無段変速機能で、各種木材のロクロ作業が簡単にできます。
- ・強力なモーターを使用。
- ・丸棒の彫刻から溝切りあるいは皿物までプロの手口で加工できます。
- ・釣竿の補修、浮の製作など用途は多彩。
- ・手で簡単にスピード調節ができます。

●仕様

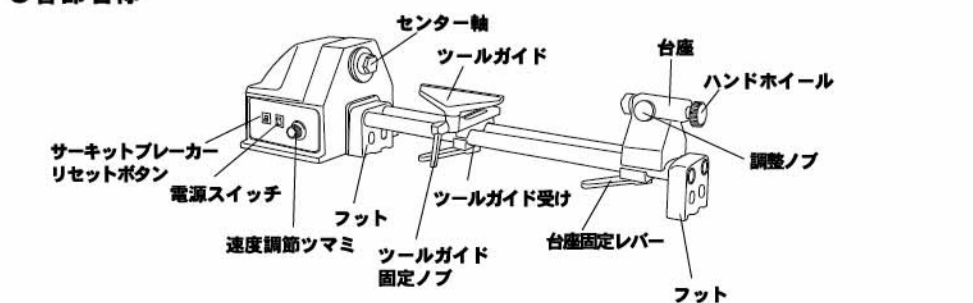
型式	WT-100
電圧	100V 50/60Hz
消費電力	240/215W
電流	4.6/4.3A
定格時間	30分
回転数	500~2500r.p.m.
本体寸法	(W)900×(D)240×(H)200mm
本体重量	15.3kg
加工素材の最大外径	144mm
加工素材の最大長	460mm

※改良のため、製品の仕様が変わる事があります。

●付属部品

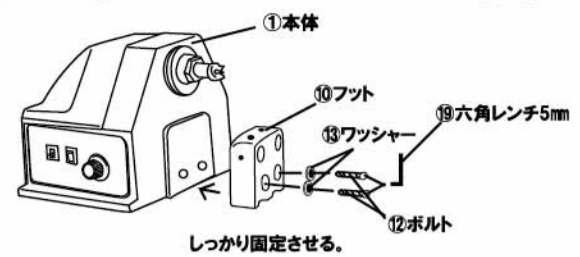


●各部名称

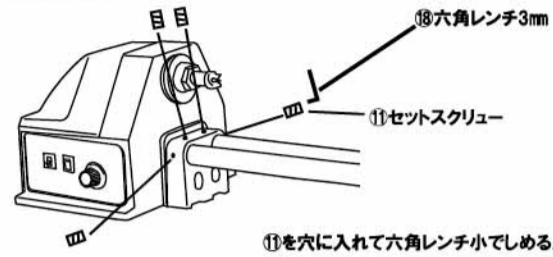


●組立方法

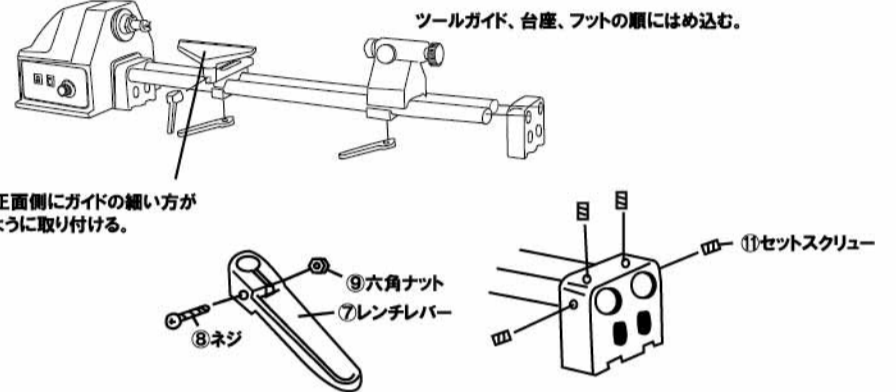
- ・組立作業は平らな場所で行ってください。
- 1.ボルト⑫とワッシャー⑬で、フット⑩を本体に取り付けます。付属の六角レンチ⑲を使って取り付けてください。



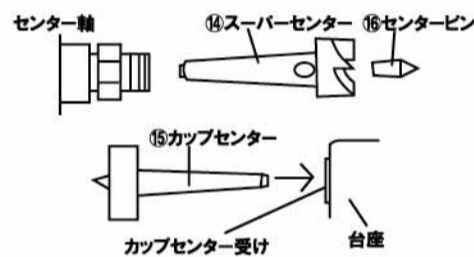
- ・パイプ2本をフットの穴に差し込み、セットスクリュー⑪でパイプを固定します。(計4箇所)。六角レンチ小⑱を使って取り付けてください。



- ・次にパイプにツールガイド受け、台座の順にはめ込みます。ツールガイド及び台座は、各々の底部にある六角ナットを、付属のレンチレバーを使って固定させ(下図参照)、最後にフットをはめます。この時も、セットスクリュー⑪でパイプを固定させます。(計4箇所)
※ツールガイドを取り付ける際は取付方向に注意して取り付けてください。逆方向に取り付けますと大変危険です。向きは下図参照



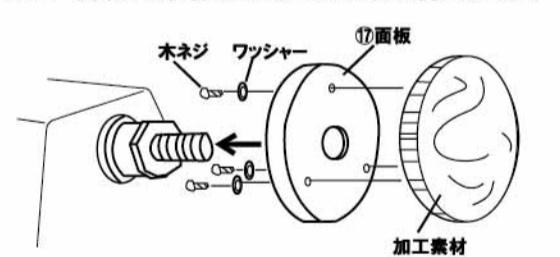
- 2.本体及び台座に、スーパーセンター、カップセンターを取り付けます。両者をそれぞれの受けに差し込んだら、木ハンマー等でたたき込んでしっかりと固定してください。



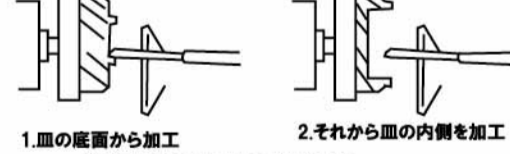
- ・台座を本体側に移動させ、スーパーセンターとカップセンターの中心が合っているかどうか確認します。この時中心が合うように位置調整をして、中心があったところで再度傾き等を直し、ボルト⑫をしっかりと締めてください。



- 3.面板をご使用になる時は、下図のように、本体センター軸に取り付けます。加工素材の取付は、木ネジと鉄製の厚めのワッシャー(本機には付属されていません。)をお使いください。

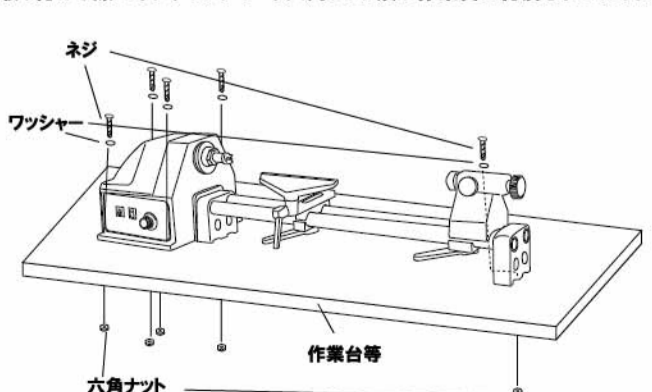


- ・皿物加工をする場合は、皿の底面から削ります。底面を削ってから皿の中の加工をした方が面板への固定がし易くなります。

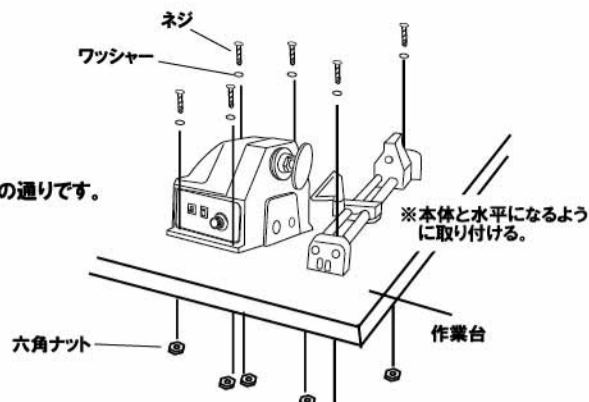


●使用方法

- 1.本機は、ベース4箇所とフット1箇所計5箇所を、頑丈な作業台等に取り付けてご使用ください。取付位置は下図の通りです。(本機を作業台に取り付ける際のネジ、ワッシャー、六角ナット及び作業台は付属されていません)



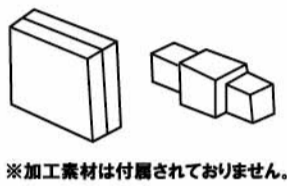
- また、大きい皿物加工時には、ボルト②をゆるめてフットを本体から外します。スーパーセンターに対してカップセンターが直角になるように置き、ベース箇所の計6箇所を取り付けてください。取付位置は右図の通りです。



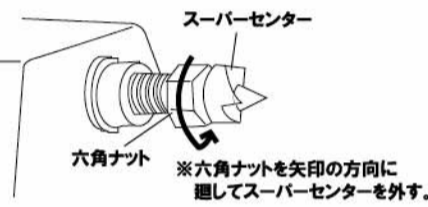
- 正しい素材セッティングのためにセンター出しが必要です。
 - 角材の場合、定規を使って二本の対角線を引き、交わった点に印を付けます。
 - 丸材の場合、丸材の直径をはかり、定規で紙に同直径の円をかいてからそのまま描いた紙を丸材に合わせ、円芯部にポンチで印を付けます。反対側も同じように印を付けます。
 - 角材を丸材に削る場合は、カンナ等で面を取っておくと削り易くなります。



- 1本(1枚)の木材で出来ないものは、木工用接着剤で張り合わせ、完全接着してから使用してください。
- 大きめの板材を皿物に加工する場合は、ジグソー等で大体の形に切ってから削ります。



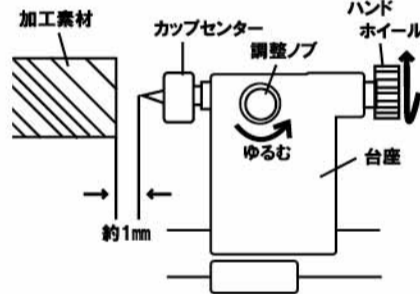
- 加工素材の取付
 - スーパーセンターをいったん取り外します。取り外し方法は、右図の通り、六角ナットを反時計方向に廻してして行きますとスーパーセンターが外れます。



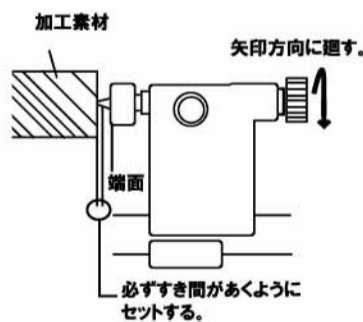
- 削り出した中心に、木ハンマー等で、センターの廻り止めがくい込むまで打ち込みます。



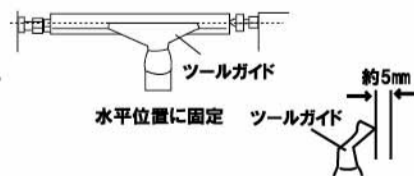
- 再度、スーパーセンターを本体にはめます。
- ハンドホイールを矢印の方向に廻して、カップセンターを後退させます。そして台座固定レバーをゆるめてカップセンターのセンターピンの先端を素材の端面の近く(1mm位)まで移動させ台座固定レバーをしめて台座を固定します。



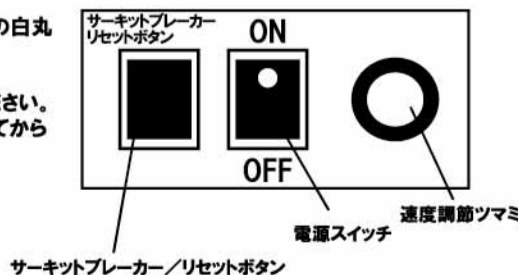
- ハンドホイールを右図の矢印の方向に廻して、加工素材の端面の中心にカップセンターのセンターピンの先端を刺して食い込ませます。その時、カップセンターの端面に素材が当たらないようにしてください。
- 調整ノブを締め付けて、カップセンターを固定します。



- ツールガイドを、素材を削る位置まで移動します。ツールガイドの高さはスーパーセンター及びカップセンターと水平になるくらいが適切です。また、ツールガイドと素材の間は、約5mm前後を目安としてください。



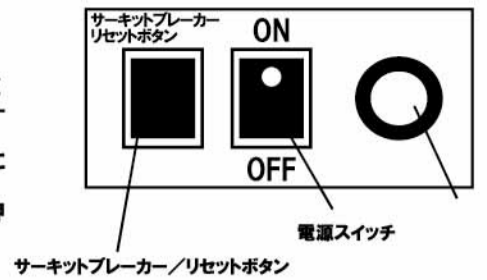
- 電源を入れる時は速度調整ツマミ左側のスイッチの白丸が付いている側に押しONになります。マークの無い方へ押しOFFになります。スイッチを入れる際は低速にしながらONにしてください。※構造上スイッチをONにしたあと約3秒程間を置いてから回り始めます。ご注意ください。



- 速度調節ツマミは本体スイッチ部に表示してある荒削り、標準加工、仕上げ加工の目盛りを目安としてご使用ください。

7.サーキットブレーカー/リセットボタン

- ON-OFFスイッチの左側にサーキットブレーカー/リセットボタンがあります。本機の能力を超えた使用によるモーターの焼損を避けるため、ブレーカーが働きます。
- ブレーカーが作動したら、即座にスイッチをOFFにしてください。
- 3分位の停止を行い、その後でリセットボタンを押してください。
- スイッチをONにして再作動してください。



●バイト(刃物)の位置



●バイト(刃物)の種類と用途

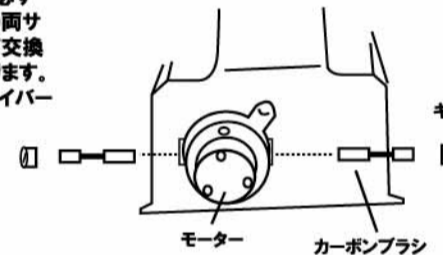
刃物断面	名称	用途
	削刃	位置取り、サイズ決め等
	丸刃	ストレートカット 丸面の削り

●バイト(刃物)の再研磨

- 刃物の切れ味を保つために、砥石で刃先を砥いでください。弊社製品水研グラインダーをお勧めします。

●保守と点検

- ご使用後は各部のホコリ、切削屑を取り除き、清掃してください。
- カーボンブラシは消耗品ですので、約3分の2位消耗したら必ず交換してください。カーボンブラシは右図のようにモーターの両サイドに付属しています。マイナスドライバーでキャップを開けて交換してください。(交換用カーボンブラシは、別売りとなっております。本機お求めの販売店にご相談ください。)また、マイナスドライバーは本体には付属されていません。



●トラブルの原因と対策

故障の種類	原因	対策
モーターが動かない	・電源からの入力無し ・コード・電源プラグの不良 ・モーター不良 ・スイッチ不良 ・モーターコイルの焼損	電源プラグ、コードの点検 " 当社にお問い合わせください。 " "
台座のがたつき	・台座の固定がゆるい	・レンチレバーをしっかりとめる ・カップセンターの微調整 ・ハンドホイール締め付けの微調整 ・各レンチレバーの微調整
使用中に稼動しなくなった	・ブレーカー作動	・3分程時間を置いてからリセットボタンを押して再稼動
素材がスーパーセンターから外れる	・スーパーセンターが適切にはまっていない。	・素材にセンターをはめ直す
センターのずれ	・フット及びパイプの締め付けのゆるみ	・センターを合わせて本体のフットをしっかりと固定する。

株式会社 ナカトミ

〒382-0836 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地2

●商品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡下さい。

お客様相談窓口 TEL.026-245-3105 FAX.026-248-9615